

Oguchi Shakyō

2013
4
月号

おおぐち社協だより

年4回発行(4月・7月・10月・1月) 第82号



平成25年2月8日(金) さつきヶ丘集会場

特集①

大口社協が支援する
町内の福祉関係団体 P. 2・3

特集②

地域で気軽に集まる
サロン・居場所づくり P. 4

ボランティア情報局

一泊避難所体験 P. 8・9

- P. 5 ●共同募金実績報告
おせち料理配布事業
- P. 6 ●介護豆知識
「高齢者の心の変化」編
- P. 7 ●大口子育て情報「ぎゅっと」
大口町近郊の遊び場紹介
- P. 10 ●点訳ボランティア養成講座
- ボランティアフェスティバル報告
- 善意だより
- P. 11 ●社協の貸出サービス
- ボランティア保険加入のご案内
- P. 12 ●平成25年度心配ごと相談所日程

福祉関係団体

大口社協では、町内の5団体について、活動助成や連絡調整の事務等を行い、活動を支援しています。今回は、各団体の活動をご紹介します。

大口町身体障害者福祉協会

女性部の社会貢献

大口町身体障害者福祉協会は、大口町の身体障がい者の福祉向上や文化活動の支援、スポーツ活動の振興を目的として、昭和33年に創設されました。

身体が不自由であっても、仲間とともに生き生きと暮らしたい。そんな思いをもつ会員が定期的につどい、季節の行事、研修会、講演会、近隣市町の身障協会との交流等を行っています。

平成24年度の講演会は、元愛知新城大谷短大教授の後藤卓郎氏を講師に迎え、「身体障がい者の望ましい福祉について」と題し、懇意の四季で開催しました。

誰もが支え合って生きる社会で、自分たちのできる活動を続ける身障協会。現在の会員数は65名、新しい仲間を募集中です。

大口町母子・寡婦福祉会

母子・寡婦会の主な活動

大口町母子寡婦福祉会は、母子家庭及び寡婦の福祉向上を目的とした団体です。戦後まもなく、母子福祉会として戦後遺児のための支援を行う団体として全国に広まり、のちに母子寡婦福祉会となりました。

- 母子家庭の生活相談
- クリスマス贈物配布事業
- 入学・進学祝品配布事業
- 会員の交流と親睦をはかる目的の日帰り旅行、研修会等



仲間と楽しむ日帰り旅行



グッズを店頭で配布する会員

大口中学校 平和学習会

遺族会は、太平洋戦争において戦地等で亡くなられた戦没者遺族の全国組織として、昭和22年に創設されました。主に、戦没者の慰靈、遺族の福祉の増進・生活相談等の事業を行っています。

大口町遺族会では、全国戦没者追悼式、愛知県護国神社

等の参挙、大口町平和祈念事業における慰靈祭等に出席。また、平和の尊さ・命の尊さを次世代に伝承することを目的に、大口中学校平和学習会において、毎年、平和記念講演会を企画・実施しています。

大口町遺族会

細川氏は、17歳のとき爆心地から1.3kmで被爆、奇跡的に生き残りました。しかし、当時13歳で女学校1年生だった最愛の妹を失くしました。「ヒロシマの一少女の生死をみつめ、被爆体験を次世代に伝承することが、被爆者としての責務」と細川氏は語ります。

鎮魂と平和への祈りが響き渡る町民会館。静まり返った生徒たちの心に、ヒロシマが確かに伝承されました。



町民会館でDVDを見る生徒たち



ヒロシマを「伝承」する講師の細川氏

心身障害児(者)親の会 ケアホームをつくる実行委員会

平成21年11月、障がいがあっても地域の中で「その人らしく」安心して暮らしていくために「ケアホームを考える会」と称し、親たちが集まり勉強会を始めました。

豊明、江南、岩倉のケアホームを見学し、施設長さんや理事長さんから、職員体制、資金面、取り組みについてお話を伺う等、勉強を重ねてきました。

そして、平成24年8月、ケアホーム建設に向け着実に前進するため、『親の会』会員の16名で「ケアホームをつくる実行委員会」を立ち上げました。

大口町らしいケアホームの建設に向け、『親の会』は動いています。皆様のご理解、ご協力をお願ひいたします。

ケアホームって何？



ケアホームとは、障がいのある人が数名で、世話人等から生活や健康管理面でのサポートを受けながら、共同生活を営む住宅のことです。家庭的な戸建て住宅のほか、マンションやアパートを利用することもあります。

ケアホームは、国の法律である障害者総合支援法のサービス（共同生活介護）に位置づけられており、世話人や生活支援員が毎日訪問し、食事や入浴等の日常生活の介助を行います。ケアホームは入居者にとっての家であり、入居者同士も協力し合って暮らします。

ケアホームは、愛知県内で500ヶ所を超える、障がいのある人が住み慣れた地域で暮らす場所として、年々定着してきています。



おめでとうございます

親の会顧問の緒方友子様が、平成24年度愛知県社会福祉協議会会長感謝状を受賞。障がい児者福祉向上ため活動してきた長年の功績をたたえられました。

特集①

大口社協が支援する 町内の

大口町心身障害児(者)親の会は、昭和54年に4人の親たちが「知的・身体に障がい」をもつわが子の幸せを願い、地域で生活できる仕組みの充実を求めてようと、仲間の親たちに呼びかけて発足しました。大口町内在住・在勤の心身障害児(者)を保護・養育している保護者で結成された会です。発足時は12名だった会員も、今では44名。健康文化センター1階の『喫茶ほほえみ』を活動拠点として、心身障害児(者)の福祉増進と会員相互の親睦・連絡調整等を中心に行っています。

『親の会』主催 クリスマス会

平成24年12月9日(日)、健康文化センターほほえみホールにおいて、クリスマス会を開催しました。

日頃『親の会』を温かく見守り支えてくださる森町長をはじめ、町職員、丹羽ライオンズクラブ、民生委員・児童委員、ボランティアの皆様をお招きし、総勢110名が参加しました。

アトラクションでは、にっぽんど真ん中祭りでどまつり大賞に輝いた鳴子踊りチーム『笑』(じょう)の25名が力強い演舞を披露。参加者も一緒に鳴子を手に「よっちょれ」を踊り、会場を熱気に包みました。

とってもゆか的なサンタクロースさんから、お菓子やケーキのプレゼントに、笑顔いっぱいのクリスマス会となりました。



サンタクロースの登場で大盛り上がり



笑の踊りで一体となる会場

大口支部は、平成23年度に新たに発足しました。会員は現在4名と少数ですが、文化センター2階のボランティア室で例会を行っています。例会では、同じ悩みをもつた家族が、当事者の回復や社会復帰の情報交換等を話し合い、閉ざされがちな心を明るくすることを願って話し合いをしています。ご家族の方、気軽に立ち寄ってください。平成24年7月から、ボランティアと力を合わせ、『フリースペースれんげそう』の運営も行っています。(P.4右下参考)

大口町心身障害児(者)親の会

しらゆり会大口支部

しらゆり会大口支部は、二つの病をもつ人の家族会。家族どうしが助け合い、この病をもつ当事者の回復を助け、社会復帰できるよう活動しています。

昭和51年、江南保健所管内の家族により、尾北しらゆり会が発足。当事者が通う施設『しらゆり・ワーク』『さくら・ワーク』の運営も支援しています。

大口社協が
お手伝いします！

特集② 地域で気軽に集まる サロン・居場所づくり

サロンの立ち上げ、運営、
保険加入等に関するご相談は、大口社協へどうぞ。
電話 94-0060



萩島地区『茶々会』

日時	毎月第2土曜日 13:30~16:00
場所	萩島集会所
参加費	1回300円

萩島地区のご近所さんが集まり、お茶会を始めて8年。長続きの秘訣は、「時間があっという間に過ぎる！」というおしゃべりの楽しさ。毎回15名程度が参加しています。

笑顔いっぱいの『茶々会』は、年齢性別を問わず、気軽に集まれる場所です。情報交換をしたり、お互いの体調を気遣ったり。お花見や会食をすることもあります。

子育てサロン『まむ＊まむ』

4/2
OPEN

日時	毎週火曜日 10:00~12:00
場所	大口町健康文化センター2階 おもちゃ図書館
参加費	無料

ママたちの集まる場所。誰でも参加できますよ♪
支援ボランティアなすび～ずがお待ちしています。

お子さんと
まったりとした時を
あじわいましょ
ゆつたりとした空間を
満喫しましょ



おもちゃ図書館



傾聴サロン『笑桜会(わうおうかい)』

5/21
OPEN

日時	毎月第3火曜日 13:00~15:00
場所	大口町老人福祉センター1階『さくら屋』内
参加費	100円

人とお話ししたい方、傾聴ボランティア『だんぽ』がお聴きします。コーヒー、お茶、お菓子付き。

外坪地区ふれあいサロン『ほっこり』

日時	毎月第2水曜日 9:00~12:00
場所	外坪学習等共同利用施設1階
参加費	1回100円

平成25年2月13日にオープンしたばかり。『ほっこり』は、あたたかくて誰もが自然と集まってくれるような居場所にしたい、との願いが込められています。

サロン活動のきっかけは、健康生きがい課主催の「地域見守り支え合いを考える会」。高齢者が集まれる居場所が近くにあれば、閉じこもり防止や見守りになるのでは？とのアイデアが、サロンにつながりました。「考える会」のメンバーのほか、近所のボランティアが集まって運営しています。

淹れたてのコーヒーとお茶の香り、「やっとかめ～」と声をかけあうご近所さん。お年寄りだけでなく、若い方、親子連れも大歓迎！サロンをお手伝いいただける方も募集中です。



フリースペース『れんげそう』

日時	毎月第2・第4木曜日 13:00~16:00
場所	大口町健康文化センター4階 和室
参加費	1回100円

ここでの休息所で、ほっと一息つきませんか？
人と会うことや話すことがちょっと苦手な方も、「ここなら安心して来られる」という居場所です。

平成24年7月にオープン以来、すでに15回以上開催。毎回20名ほどが参加して、仲間とボランティア「さくらんぼ」とお茶を飲みながらくつろいでいます。ご家族のみの参加もOKです。

平成24年度 共同募金実績 最終報告

(平成24年12月末時点)



大口町更生保護女性会の街頭募金活動

歳末たすけあい募金に ご協力いただきました皆様

(敬省略・順不同及び略式掲載)

町民の皆様

バローダ大口店、ヨシヅヤ大口店、アピタ大口店、トヨタ紡織(株)、(福)愛生福祉会 特別養護老人ホーム御桜乃里、(福)一期一会福祉会 一期一会荘、(社)尾北医師会、大口郵便局、大口南郵便局、JA愛知北大口支店、大口町役場、大口町民生委員児童委員協議会、大口町更生保護女性会、憩いの四季、喫茶ほほえみ、(社)大口町コミュニティ・ワークセンター

募金総額 3,461,903円

ご協力いただきました町民の皆様、協力団体・企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

大口町共同募金委員会

会長 水野 多三男



募金機能付き 自動販売機 県下No.1に!

平成24年4月から大口町

募金は、愛知県と大口町の福祉事業に役立てられます。



募金の 使い道

おせち料理配布事業

健康文化センター1階に設置された「赤い羽根共同募金」が目印の自動販売機。販売価格には、募金が含まれています。

その募金実績額が、平成24年度に愛知県下初登場・第1位の快挙を成し遂げました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

募金は、愛知県と大口町の福祉事業に役立てられます。身近でできる小さな善意の積み重ねに、今後ともご協力をお願いします。

大口社協では、赤い羽根共同募金の配分を受けて、毎年さまざまな福祉事業を実施しています。その一例として、ひとり暮らし等のお年寄りに、おせち料理をお届けする事業があります。対象は、大口町内在住の80歳以上の単身世帯、または80歳以上の方のみで構成された世帯。

民生委員の皆様の

ご協力により、事前におせち料理の注文を受け、お年寄りの自宅にお届けすると、12月30日、92個のおせち料理が社協へ到着。あなたがたが描いた絵手紙を添えます。民生委員の皆様がそれを待ち、お年寄りの自宅へ向かいます。丁寧にお礼を伝えるお年寄り。皆様からいただいた善意の募金は、このようなかたちで活かされています。



お年寄りからのお礼状（抜粋）

（ひとり暮らし・93歳女性）

くる年くる年、立派なおせち料理を頂戴し、うれしくて大喜びです。歩けない生活で買い物もできませんが、楽しいお正月を迎えるのも、おせち料理のおかげです。皆様に心からお礼申し上げます。



民生委員の方からおせち料理を手渡し



高齢者は身体の衰えとともに、心の変化もでてきます。疑い深くなったり、自己中心的になったりと変化してきます。そうかと思えば歳を重ねて魅力的になる方もいます。

今回は「高齢者的心の変化」について紹介します。



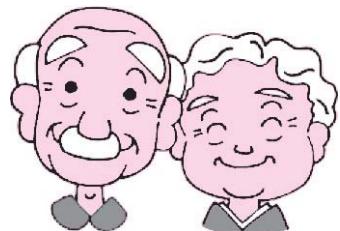
高齢者的心の変化の特徴について

○ 話しをしたがり、くどくなる。

記憶力の減退と、相手に正確に伝わっているかという不安になるため、同じ話をくどくどと何度も話す傾向があります。

○ 頑固になり融通がきかなくなる。

自分の生き方や考え方を絶対的な基準とする傾向があり、保守的で頑固になります。



○ 短気になる。

物事をじっくり考え解決しようとする力が衰え、短気になります。また、感情のコントロールがうまくいかない場合もイライラして怒りっぽくなります。

○ 無気力になる

体力の衰えや仕事を失ったことによる社会的喪失、家族や友人との死別などの喪失体験が重なり、無気力になることがあります。



○ 性格が穏やかになる。

短気になる人がいる一方で、人が変わったように穏やかになる人もいます。

○ 明るくほがらかになる。

自分で本当にやりたいことに没頭している人、孫やひ孫に囲まれ家族関係がうまくいっている高齢者などに多く見られます。



高齢者は体力・気力の低下を感じると、知らず知らずのうちに悲観的になっていくことがあります。視力や聴力などの機能低下で、社会生活に対して消極的になっていきます。そうなると、世間の出来事や情報に关心を持てず、取り残され孤立していくことになりかねません。

日常生活を自立して行う生活機能を維持するために、次のようなことを心掛けましょう。

① 規則正しい生活をする。 ② 食生活に気を配る。

③ 軽い運動の習慣を取り入れる。 ④ 体・心の不調に早く気づく。

体や心の健康は、日常生活の中でちょっとした注意や努力により向上するものです。できるところから少しづつ始めてみましょう。



大口子育て情報 ぎゅっと

【編集】特定非営利活動法人「まみーぽけっと」
【HP】
<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage1.htm>



お出かけにいい季節になりました！
天気のよい日はお弁当をもって
遊びに行きましょう。



<一宮地域文化広場>

一宮市時之島玉振1-1

☎0586-51-2180

自然林を取り入れた緑豊かな憩いの場。フィールドアスレチック、プラネタリウム、おやこプール(夏休み期間中のみ)などがあります。(休業日・月曜日)

おすすめポイント プラネタリウム館の入場料は、大人60円・小人(中学生以下)30円と格安。
土日、春夏冬休み、祝祭日の11時からこども向けのプログラムがあります。

<都市緑化植物園(グリーンピア春日井)>

春日井市細野町3249-1

☎0568-92-8711

緑豊かな山々に囲まれ、園内のいたる所で四季折々の植物が見られます。動物ふれあい広場では、ポニー、ヒツジ、ラマ、クジャク、ウサギ、モルモット、グリーンイグアナなどを飼育しています。(休業日・月曜日)

おすすめポイント 第2・3・4日曜日には、動物ふれあい行事が行われています。

<犬山ひばりヶ丘公園>

犬山市富岡字永洞1098-329 ☎0568-61-8922

富岡集落の北部に広がる「里山」地帯の一角にあり、隣接して「小野洞砂防公園」もあります。ブランコ、トランポリンなど遊具がたくさんありますが、中でも人気があるのは、全長70メートルの巨大ローラーすべり台。

おすすめポイント 高台にあるので景色がいい！ 野鳥も見られます。

<木曽川扶桑緑地公園>

扶桑町小渕砂原 ☎0587-93-1111 公園(扶桑町都市整備課)

☎0587-93-2441 グランド・キャンプ場(扶桑町総合体育館)

木曽川の清流に面した大自然を舞台に河川敷に広がる約10ヘクタールの広大なスペースで、野球やサッカーなどが楽しめるグランド・芝生広場・コンビネーション遊具・全長約2.5キロのサイクリングロードがあります。

おすすめポイント キャンプ場は無料で使えます。申し込みは扶桑町総合体育館へ。

ママと地域の集いのカフェ 「ポシェ ドゥ レーブ」 オープンしました！

大口町で子育て支援活動を続けてきました(特)まみーぽけっとの夢が10年目にして実現しました！

3月から大口町秋田でカフェを始めました。*「ポシェ ドゥ レーブ」とは【夢のポケット】という意味です。

☆ カウンター付きキッズスペース

☆ ママの雑貨コーナー

☆ オムツ替え台完備

営業時間 9:00~16:00

定休日 日・月・祝祭日

大口町秋田三丁目196番地1

☎95-0077





そなえあれば…うれいなし

物も…
心も…

1/25(金)、2/1(金)、2/8(金)～9(土)の3回にわたり、災害ボランティア養成講座《一泊避難所体験》がおこなわれました。

丹羽消防署、災害救援ボランティア、D・サポート丹羽の方々の協力のもと、第1回は消防隊員の生々しい体験談と基礎学習。第2回は、受講者全員で避難所生活の持ち物や役割分担についてのグループワーク。第3回は、さつきヶ丘集会所での一泊避難所体験、という充実した内容で実施されました。参加した方々の声を聴いてみました。



第2回(2/1)
グループワーク

第3回2/8(金)～9(土)は、受付・総務班、炊事班、部屋班と別れ、作業をおこなった。

夕食の炊き出しは、豚汁、白ご飯。白ご飯は短時間でたくさんのご飯が炊ける「湯吹き」という炊き方で炊いた。

部屋班は、集会所の中に段ボールで仕切りを作る。床の上には銀マットなどをひき、囲いの段ボールの高さも、プライバシーを考え80～90cmに。



第1回(1/25)
丹羽消防署 警防課
舟橋孝二氏による講演
「消防隊員が見た東日本大震災」



避難所リーダー役の
災害救援ボランティア代表
安藤巖氏

その後、森町長や鵜飼町民安全課長からのお話、災害救援ボランティアによるロープ結索法の指導と、地図上で避難経路確認をおこなった。途中、リンナイ(株)からの支援物資が到着した。

電気は無いという想定のため、明かりはろうそくの火(ペットボトルと釘だけで簡単にできるろうそくたて)のみ。真っ暗で、寒さも伴う中、就寝。

翌朝は、昨日の残りの豚汁に残りのご飯を入れ、雑炊。その後、片付けをして午前10時に解散。

豆知識1

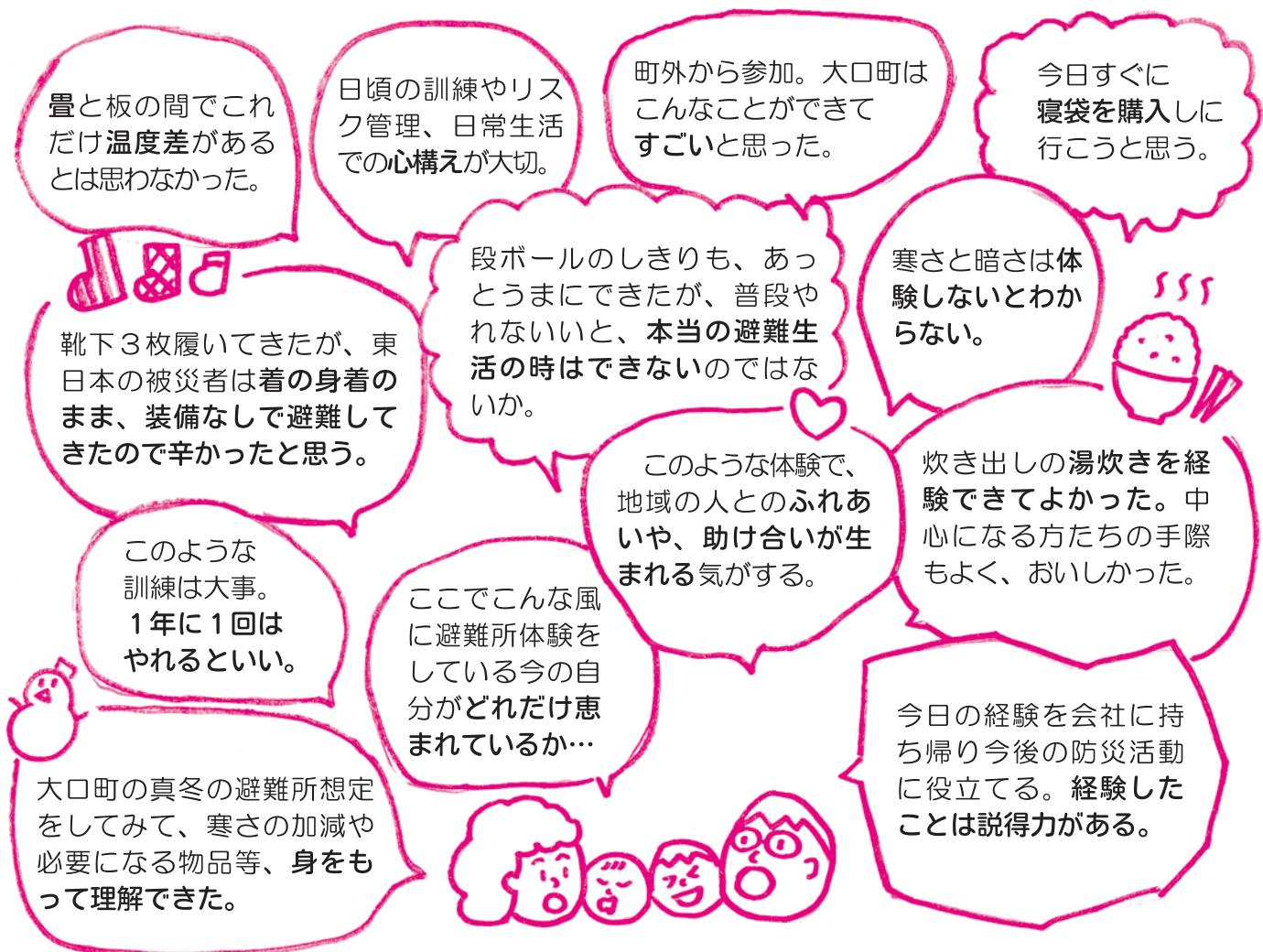
湯吹き…米1に対し、水が1.1～1.2の割合。沸騰したお湯の中に、30分ほど水についておいた米を入れる。再沸騰したら混ぜる。1～2回繰り返し、水分が残っているうちに蒸らす。10キロのお米なら30～40分くらいで炊くことができる。

豆知識2

備蓄できるご飯の作り方…普通に炊いたご飯を洗いぬめりをとり、カラカラに天日干しにして、保存。食べるときは、水で1時間つけてもどす。(切り干し大根感覚)

暖かさと温かさ

寒いから暖まりたい…
不安だから温まりたい…



段ボールの囲いの中で眠る

津波災害のビデオを見ていて・・・今回は体験だから、準備も万全だったが、それでもこれだけ寒く、ましてや、避難が急なことで、家族の安否もわからず、家も物もなくなっていたような状態だったら、冷静にはいられないだろう。そんな人がたくさん集まつたら、どうなるんだろう。そう思うと、被災者の方の気持ちにほんのほんの少し近づいた気がした。



ロープ結索法を指導する
災害救援ボランティア

■編集後記■ 取材・作成／編集ボランティア OZ

ニヨキ！ニヨキニヨキ！あ、こっちにも、こっちにも出てる。

小さな花壇の土の中からチュウリップの芽、見つけた。球根を植えたのは、まだ冬が始まる前の11月。それから長い冬の間、冷たい風にさらされ、雪に覆われ、凍つつく土の中で、少しずつ少しずつ根を張り芽を伸ばして、やっとお日様の前に現れた。

春の花は、寒い冬を乗り越えないと、きれいに咲けないんだってね・・・

さあ、春が来たよ♪満開の花をおもいっきり咲かせてみせて～♪



点訳 ボランティア養成講座

大口社協主催／ボランティアサークル「点訳フレンド」協力

受講生
募集!

●講座カリキュラム

回数	開催日	講義内容
1	6／3(月)	開講式 点字とは、清音を書いてみる
2	6／10(月)	語の書き表し方 1 基本的な仮名遣い
3	6／17(月)	語の書き表し方 2 その他の仮名遣い
4	6／24(月)	語の書き表し方 3 数字
5	7／1(月)	語の書き表し方 4 アルファベット
6	7／8(月)	文の書き方 1 文節分かち書き(1)
7	7／22(月)	文の書き方 2 文節分かち書き(2)
8	7／29(月)	記号類の使い方・その他

※希望者は、パソコン点訳講座2回を追加受講できます。

西尾張ブロック ボランティア フェスティバル



平成25年2月24日(日)、弥富市総合社会教育センターで同フェスティバルが開催されました。

西尾張ブロック14市町村のボランティアが一同に集う、年に1度のフェスティバル。ボランティア実践者どうしが情報交換し、つながりを深め、活動の活性化をはかる目的で、毎年開催されています。ボランティアと社協が委員会を組織して、準備を進めてきました。

『なでしこ』がブース出展

今年度は、ブース形式でボランティアが日頃の活動を発表。大口町ボランティア連絡協議会からは、『なでしこ』が出し、役員が会場受付係を担当しました。

『なでしこ』は、かばんや小物等の作品を手作りし、売上を町内の福祉施設へ寄付する、という活動を15年間続けています。メンバーの丁寧さが伝わる作品は、「完成度が高く、ボランティアの作品とは思えない！」と来場者や他のボランティアに好評。今回の売上は特別に、町内のボランティア活動に活かすため、社協に寄付されました。



『なでしこ』メンバーと連協会長

災害義援金

社協窓口で受付しています

地震、台風、大雨…毎年、日本各地で自然災害による大きな被害が発生しています。

大口町共同募金委員会では、被災地域の共同募金会からの依頼により、社協窓口に募金箱を設置し、義援金を受付・送金しています。

平成24年度は242,857円を送金しました。

お問合せは大口社協まで。

電話 94-0060

お詫びと訂正

(正) 誤
(学) 名
載
員
加
入
実
績
の
「法
人
会
員
紹
介
」
で
誤
記
され
ました。
お詫
びと
訂
正
しま
す。
※ 敬
称
略

〔平成24年度社協だより1月号の3ページ
「大口町社会福祉協議会会員登録」の「法人会員紹介」で誤記
されました。〕



善意だより

社会福祉に役立てて欲しいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄附・寄贈をいただきました。厚く御礼申し上げますとともにご報告いたします。

順不同(11月28日～3月1日 取扱い分)

【寄附金】

大口町老人クラブ連合会 様	15,050円
ダンスサークル大口 様	41,000円
匿名希望	11,600円
江南モラロジー婦人部 様	10,000円
大口町建設協力会 様	100,000円
ボランティアなでしこ 様	20,000円

ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした（傷害事故）、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった（賠償事故）などの事故を幅広く補償します。

※ボランティア活動保険は、1か月前から申込可能です。1日から活動を計画している場合は、前月中に手続きをお願いします。

加入申込者 (加入できる方)	①ボランティア個人またはボランティアグループ ②特定非営利活動法人(NPO法人)
対象となる ボランティア 活動	自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する無償の活動で、①～④のいずれかに該当する活動 ①ボランティアグループの会則に則り企画、立案された活動 ②社会福祉協議会に届け出た活動 ③社会福祉協議会に委嘱された活動 ④NPO活動(非営利)
補償期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日 ※中途加入については加入申込手続きの完了した日の翌日～平成26年3月31日

掛金	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン	250円	300円	250円
天災プラン	330円	390円	470円

※上記掛金のうち社会福祉協議会から100円補助あり

ボランティア活動保険

社会福祉協議会及び民間のボランティア活動推進団体が主催者となって、ボランティア活動に関わる行事を行う際の、主催者及び参加者のケガ（傷害事故）と、主催者が賠償責任を負った事故を補償します。

加入申込者 (加入できる方)	ボランティアグループ、NPO法人等の常にボランティアを活動している民間団体
対象となる ボランティア 活動	ボランティアグループ、NPO法人等が主催者となって行うボランティア活動に関わる行事
補償期間	行事開催期間

型	A型（宿泊なし）	B型（宿泊あり）
単位	1日1名につき	1名につき
		1泊2日～6泊7日
掛金	30円	240円～360円

※プラン内容や補償内容、補償の対象外となる活動の詳細、不明な点等については、下記までお問合せください。

お申込・お問合せ 社会福祉協議会 94-0060
(ボランティアセンター)

福祉車両の貸出サービス

車いすに乗ったまま乗り込む

福祉車両をお貸します！



社協の福祉車両
(軽自動車)

※車いすの乗降操作は、事前に説明しますので安心してご利用ください。

- 利用条件**
- ①車いす利用者が大口町に居住している、または大口町に居住する方の親族等が、大口町に滞在し必要とするとき
 - ②貸出車両の保管場所を確保できる方
 - ③運転手を確保できる方

貸出期間 2日以内（週末・祝日はお問合せください）

利用料金 走行距離10kmにつき100円

貸出方法 事前に電話等で予約が必要。貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、健康文化センター正面玄関前で貸出車両をお渡しします。

お申込・お問合せ 社会福祉協議会 94-0060

車いす・松葉杖の貸出サービス

急なケガで困った、足腰が弱ってきた…

そんなとき社協の貸出が便利です



- 利用条件**
- ①利用者が大口町に居住している、または大口町に居住する方の親族等が、大口町に滞在し必要とするとき

②1ヶ月以上の利用の場合は、1ヶ月毎の更新手続きができる方

貸出期間 必要に応じて延長可能

利用料金 年間500円（1週間以内は無料。1週間を超えて利用する場合は、維持管理費として500円の協力金が必要）

貸出方法 貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、その場で貸出品をお渡しします。

お申込・お問合せ 社会福祉協議会 94-0060

心配ごと相談所

平成25年度 開設日程 (1月のみ変則日程)

内容 月	母子自立支援相談 女性相談 10:00～15:30	女性相談 10:00～15:30	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30～16:30
4月	3日(水)	17日(水)	24日(水)
5月	1日(水)	15日(水)	22日(水)
6月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
7月	3日(水)	17日(水)	24日(水)
8月	7日(水)	21日(水)	28日(水)
9月	4日(水)	18日(水)	25日(水)
10月	2日(水)	16日(水)	23日(水)
11月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
12月	4日(水)	18日(水)	25日(水)
1月	8日(水)	22日(水)	29日(水)
2月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
3月	5日(水)	19日(水)	26日(水)

無料・
予約制

高齢者・障がい者の 弁護士相談



ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごとの相談にのります。

日 時	第4水曜日 13:30～16:30
場 所	大口町健康文化センター 2階 社協相談室
対 象 者	町内在住の高齢者(概ね65歳以上)・障がい者 またはそのご家族、福祉関係者
相談時間	30分間(あらかじめ相談内容をまとめてください)
予約受付	電話 94-0060までご連絡ください

ひとりで悩まないで!



大口社協では、身近な心配ごとや悩みごとの相談ができる「心配ごと相談所」を開設しています。地域の皆様からの相談に、専門の相談員が対応します。

秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

母子自立支援相談

第1水曜日 10:00～15:30

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。

女性相談

第1・第3水曜日 10:00～15:30

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。

遺言・相続
そろそろ
考えようか

認知症に
なったら
どうする?



成年後見人
って必要?

暴力や虐待
を受けて
困っている

財産管理
債務整理
どうしよう?

悪質商法や
借金で
困っている

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

事務局 月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話 (0587) 94-0060 FAX (0587) 94-0059

〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階
ホームページ <http://www.oguchi-shakyo.or.jp>
Eメール chiiki.fukushi@oguchi-shakyo.or.jp

